

北海道児童発達支援管理責任者 更新研修 シラバス

日	時 間	内 容
一 日 目	10:00~11:00 (10分休憩)	【講義】 児童福祉施策の最新動向
	11:10~12:40	【演習】 事業者としての自己検証
	12:40~13:30	(お昼休み)
	13:30~15:30 (10分休憩)	【演習】 児童発達支援管理責任者としての自己検証
	15:40~17:10 (10分休憩)	【演習】 関係機関との連携

必須項目	項目	内容
○	1 教科名	児童福祉施策の最新動向（講義）
○	2 国が定める標準カリキュラム上の科目名	児童福祉施策の最新動向
	3 関連する研修目標	①本人主体の支援方法を理解すること
○	4 担当講師名	北海道 担当職員
○	5 担当講師略歴	別紙 掲載
○	6 時間数	60分
○	7 到達目標	・児童福祉施策の最新の動向について理解することで、利用者の置かれている制度的環境の変化を認識する。
○	8 教科の概要	制度の最新情報について北海道の担当職員から説明があります。
○	9 授業方法	講義
○	10 授業計画	北海道の担当職員から資料に基づいて、講義があります。
	11 準備学習	
	12 教科書・参考書	
	13 注意事項	
	14 参照リンク	

注) 「2 関連する研修目標」は、次のうち、関連のある目標を選んで記載すること。

複数ある場合は、より関連の強い目標を一つ記載すること。

- ①本人主体の支援方法を理解すること
- ②事業所におけるサービス提供のプロセスとそこで果たすべきサービス管理責任者等の役割を理解すること
- ③支援提供職員及び関係機関と連携した支援方法を理解すること

必須項目	項目	内容
○	1 教科名	事業者としての自己検証（演習）
○	2 国が定める標準カリキュラム上の科目名	事業者としての自己検証（演習）
	3 関連する研修目標	②事業所におけるサービス提供のプロセスとそこで果たすべきサービス管理責任者等の役割を理解すること
○	4 担当講師名	日置真世
○	5 担当講師略歴	別紙 掲載
○	6 時間数	90分
○	7 到達目標	・自らの事業所の状況や取り組みを振り返り、社会的な役割や事業の目的、コンプライアンスを再認識する。 ・地域や社会の状況、障がい当事者のニーズを踏まえ、事業所に求められる役割を理解することができる。
○	8 教科の概要	事前の振り返りシートをもとに、グループワークを通じてそれぞれの事業所の状況や地域のニーズについて振り返るとともに、現場に持ち帰ることを確認します。
○	9 授業方法	グループワークによる演習
○	10 授業計画	事前課題の確認・共有（30分） それぞれの報告についての意見交換（40分） グループワークの成果報告、共有（20分）
	11 準備学習	事業所や地域の状況を把握するための自己検証用事前シートを用意し、持参
	12 教科書・参考書	
	13 注意事項	
	14 参照リンク	

注) 「2 関連する研修目標」は、次のうち、関連のある目標を選んで記載すること。  
複数ある場合は、より関連の強い目標を一つ記載すること。

- ①本人主体の支援方法を理解すること
- ②事業所におけるサービス提供のプロセスとそこで果たすべきサービス管理責任者等の役割を理解すること
- ③支援提供職員及び関係機関と連携した支援方法を理解すること

必須項目	項目	内容
○	1 教科名	児童発達支援管理責任者としての自己検証（演習）
○	2 国が定める標準カリキュラム上の科目名	児童発達支援管理責任者としての自己検証（演習）
	3 関連する研修目標	①本人主体の支援方法を理解すること
○	4 担当講師名	日置真世
○	5 担当講師略歴	別紙 掲載
○	6 時間数	120分
○	7 到達目標	・自らの児童発達支援管理責任者としての状況や取り組みを振り返り、長所短所、役割や使命を再認識し、自己覚知を促すことができる。 ・地域や社会の状況、障がい当事者や家族のニーズを踏まえ、児童発達支援管理責任者に求められる役割を理解することができる。
○	8 教科の概要	事前の振り返りシートをもとに、グループワークを通じてそれぞれ自らの障がい福祉従事者としての状況や求められる役割について振り返るとともに、現場に持ち帰ることを確認します。
○	9 授業方法	グループワークによる演習
○	10 授業計画	事前課題の確認・共有（30分） それぞれの報告についての意見交換（60分） グループワークの成果のまとめ、共有（40分）
	11 準備学習	自分自身を把握、振り返るための自己検証用事前シートを用意し、持参
	12 教科書・参考書	
	13 注意事項	
	14 参照リンク	

注) 「2 関連する研修目標」は、次のうち、関連のある目標を選んで記載すること。

複数ある場合は、より関連の強い目標を一つ記載すること。

- ①本人主体の支援方法を理解すること
- ②事業所におけるサービス提供のプロセスとそこで果たすべきサービス管理責任者等の役割を理解すること
- ③支援提供職員及び関係機関と連携した支援方法を理解すること

必須項目	項目	内容
○	1 教科名	関係機関との連携（演習）
○	2 国が定める標準カリキュラム上の科目名	関係機関との連携（演習）
	3 関連する研修目標	③支援提供職員及び関係機関と連携した支援方法を理解すること
○	4 担当講師名	日置真世
○	5 担当講師略歴	別紙 掲載
○	6 時間数	90分
○	7 到達目標	・支援提供における連携の重要性と必要性を再認識し、その具体的な方法について理解する ・（自立支援）協議会の役割や活用法について具体的にイメージし、実践に活かすことができる
○	8 教科の概要	事前の連携事例シートをもとに、グループワークを通じてそれぞれの連携についての理解や実践について振り返るとともに、現場に持ち帰ることを確認します。
○	9 授業方法	グループワークによる演習
○	10 授業計画	事前課題の確認・共有（30分） それぞれの報告についての意見交換（40分） グループワークの成果報告、共有（20分）
	11 準備学習	連携の実践や理解を把握するための事例シートを用意し、持参
	12 教科書・参考書	
	13 注意事項	
	14 参照リンク	

注) 「2 関連する研修目標」は、次のうち、関連のある目標を選んで記載すること。

複数ある場合は、より関連の強い目標を一つ記載すること。

- ①本人主体の支援方法を理解すること
- ②事業所におけるサービス提供のプロセスとそこで果たすべきサービス管理責任者等の役割を理解すること
- ③支援提供職員及び関係機関と連携した支援方法を理解すること